



子どもの遊び
環境学習会

子どもが自ら育つ “まち”を考える

子どもが

「遊ぶ」

こと、

大人が考えていこう！

日時：平成22年2月21日（日）

13：00～16：00（受付開始12：30）

会場：エルパーク仙台5階 セミナーホール1・2

（仙台市青葉区一番町4-11-1 三越定禅寺通り館）

子どもの「やってみたい」を
育てる遊び環境が今が必要です。

これからの子どもたちが
目を輝かせて遊び、育っていく
仙台のまちをつかっていくには
大人はどう行動していけるだろう？

子どもの遊び場に関わって
きた人たちと、一緒に
考えてみませんか？！

テーマ～遊び場からのまちづくり～

講師：木下 勇 氏

（千葉大学大学院園芸学研究科教授）

「三世代遊び場マップ」等の活動に関わる。
現在は子ども・住民参画のまちづくり、都市
計画、持続可能な都市再開発地域マネジ
メント関連で活動中。

ね
ら
い

第
1
部

基調講演

13:10～14:10

パ
ネ
ー
リ
ス
ト
14:30～15:50

第
3
部

第
2
部

市民の声紹介
14:20～14:30

パネラー

- ・木下 勇 氏
- ・大村 虔一 氏（冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク代表理事）
- ・佐々木 啓子 氏（西公園プレーパークの会 プレーリーダー）

コーディネーター 佐藤慎也氏（山形大学教授）

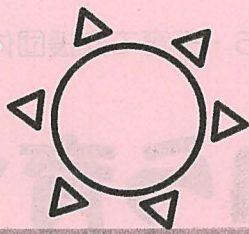
集まった一人一人の声
～子どもの育ち・遊び場への想い～

平成21年12月に「仙台市緑の基本計画」、
平成22年1月に「新・仙台市すこやか子育て
プラン」へ遊び場に来ているみんなが意見をしま
した。言葉に表された子どもの育ち、遊び場、
遊び環境への一人一人の想いを紹介します。

- 対 象：子どもをもつ親、子どもの遊びに関わる仕事をしている方、又は
興味・関心のある方ならどなたでも
- 定 員：50名（先着順） ● 参加費：無料
- 託 児：先着定員10名（料金200円 / 要予約 / 13時～16時まで）
- 申込方法：下記まで「①氏名、②連絡先電話番号、③託児の有無」を記入の上、メールにて
- 問合せ先：[TEL] 090-7562-6154（西公園プレーパーク専用電話）
[メール] kodomo_asobi20080505@yahoo.co.jp

■主 催：西公園プレーパークの会、財団法人こども未来財団

■協 力：ふるじろプレーパークの会、りふ・プレーパーク、特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク



子どもの遊び 環境学習会 ってなーに??

目的

- 子どもたちの日常にきらきらする瞬間を保障したい
- そのために、大人が学び、話し合い、つながっていく場をつくる
- そして、今できることを大人ひとりひとりに問いかけていく

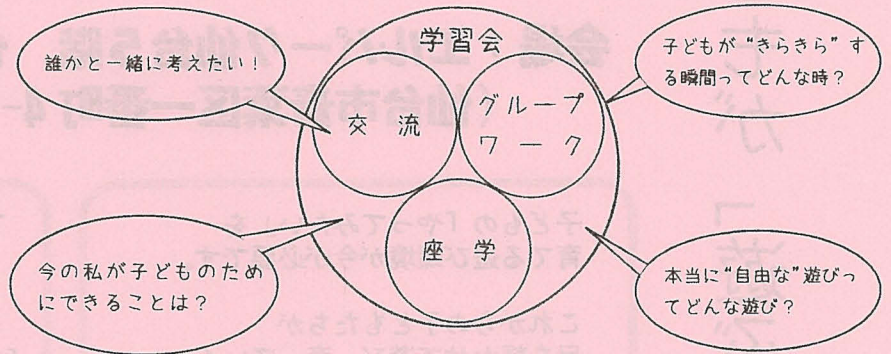
皆さんは、子どもの頃どんな遊びをしていましたか？秘密基地づくりや、鬼ごっこ、虫捕り。どきどきするような、ちょっと危ないこと。日が暮れるまで泥だらけで駆け回った毎日。誰にだって、何か一つはそんな思い出がありませんよね。

では、今の子ども達はどうでしょう…？思い切り遊べる場所は？仲間はある？時間は？いつか、『子どもの頃はこんなことをして遊んだなあ』と思ひ起こせるような瞬間はどれだけあるのでしょうか。

『今でなければ体験できない、宝物のような瞬間を子ども達に与えてあげたい』

『自分一人ではどうしたらいいのかわからないけれど、とにかく何かしたい』

私たちは、そのように考える人たちと共に学び、つながり、社会に向けて「私たちが大切にしたい豊かな遊び環境とは何か」を発信していきたいと考えています。



内容

様々な立場から子どもに関わる専門家をまねいて学習会を開きます。また、参加者同士が交流できる場づくりを目指しています。

対象

子どもの遊びにたずさわっている、又は子どもの遊びに興味をもっている大人。

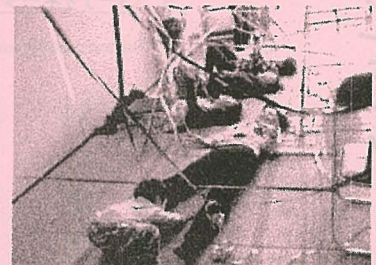
一人一人の想いから生まれる
* 力強いパワー *

- 子どもを持つ親
- 児童館職員
- 保育士
- プレーリーダー
- 教職員
- 行政職員
- 学生 など
- どなたでも！

去年はこんなことやりました。



～第2回目～
小児科医の先生を招いた学習会。
後半のワークショップでは、
「子どもの遊びにプログラムは必要か？」
「子どもの遊びに大人は必要か？」
ということについて話し合いました。



～第4回目～
アトリエの先生を招いた学習会。
ワークショップでは、絵本の内容を題材に、毛糸や紙テープなど「糸」をベタベタつけていき、「クモの巣」を創り、いつもとは違った目線で「巣」を見てみました。